



木村洋子議員

## 心のケア 遺族への対応は 県の「心の相談室」で対応

**問** 町内の介護老人保健施設が国からの補助金を受け、再建の運びとなった。町民として待ち望んでいたところである。東日本大震災の時、被災した施設は大津波にのまれ多くの入所者や職員が亡くなられ、まだ見つかっていない方もいる。遺族の中には、「あの日、最期はどうだったのか」と、被災当時の状況を知らりたいと悩みを持って私のところへ来られる方もいる。

**答** 被害の甚大さを考えると、なぜあれだけの被害になってしまったのか検証が必要である。被災した施設はそれをオープンにし、今後につなげるべきである。復興は、物や建物の復興だけでなく心の復興も大事である。悩みを抱える遺族に対し、心を寄せる対応が望まれる。町として、被災した施設の遺族に対して心のケアを行ったケースがあるか。

**佐藤町長** 町として介護老人保健施設の入所者や職員の遺族だけを対象に心のケアを行ったケースはない。心のケアの取り組みについては、震災直後に医師ら

による全国のケアチームが避難所や仮設住宅を巡回し、相談や講話を行った。現在は、県が相談・診療拠点として保健センターに「こころの相談室」を開設している。

## 学校給食事業の再開は 復旧・復興の状況を見据えて

**問** 震災で親が亡くなったことなどから、お弁当作りが困難になった家庭がある。親の負担軽減にもなるなどメリットがたくさんある学校給食事業を再開すべきでは。

**佐々木教育長** 復旧・復興を優先したいとの判断から、今後町の復興などの状況を見据え協議していく。現段階ではまだ具体的な計画を立てる時期ではないと考える。

## NPO問題 改善すべき点への取り組みは 適正な行政執行に一層努める

**問** 第三者調査委員会の調査検証結果を受け、改善すべき点についての見解と今後の取り組みは。

**豊間根総務課長** 各課ごとに議論してまとめるようなことはしていないが、職員同士が関心を持ち、話し合いをしていると思う。

**佐藤町長** 提言いただいたことを重く受け止めている。今後情報共有、縦横の連携、信頼関係の再構築による行政執行と法令順守に、より一層努める。

また、税金の効果的な使い方を職員全員が肝に銘じて徹底する。

**問** 報告書は、幹部職員の資質面での指摘が多かったようだ。職員に徹底させる

### その他の質問

- ◆住宅再建について
- ◆子宮頸がんワクチン接種について